

熊本JC

わがLOMのシニアクラブ

# 天下の名城の城下町で活躍する JCOBのネットワーク

熊本JCシニアクラブは現在82歳の先輩を筆頭に会員数291人、JC現役時代に培った友情と信頼の絆を基に生涯の交流を続けています。

年間の会合は、春季懇談会・六月の年祝いの会・秋季懇談会・忘年会の4回。それに現役の会合への出席が、新年会と9月年次総会後の懇親会の2回となっています。年祝いの会では、還暦を迎えた会員にちゃんちゃんこならぬカシミヤの赤いベストを贈って祝っています。また、秋期懇談会の企画運営を、例えば昭和9年19年29年生まれが一緒に担当することで、縦の交流が強まるようにしています。

会員のシニアクラブへの思いは様々です。新しい会員の中には、もっと積極的な活動を求める考えもあります。しかし、既にJCを卒業した以上、会員は人生それぞれの分野での活躍を期し、シニアクラブはJC同窓会と現役への支援に徹し、そのためには、運営や会合もあまり会員の負担にならない範囲でやっつけていこうとの考えが強いようです。また、みんな、現役時代の肩書きを外

して付き合うように心がけています。

熊本のような地方都市では、社会のいろいろな分野でJCOBが活躍しています。会員はそれぞれの業界は元より、政治や経済の各団体、経済同友会、商工会議所、法人会、ロータリー、ライオンズ、PTA、その他のNPO等々で、JC時代に学んだ組織運営のノウハウを活かし、JCで鍛えたボランティア精神を発揮して指導的な役割を果たしています。ちなみに細川護熙元総理も熊本JCシニアクラブの一員（現在名誉顧問）です。

熊本市は日本三名城の一つ、熊本城を中心とした城下町。今、築城400年祭に向けて、往時を再現する大規模な復元工事が進んでいます。九州新幹線も県内を走り始めました。



新年会で熊本JCを祝福して乾杯する山内彰雄会長

地元には大きな足跡を残し、JCOBのネットワークは地域のあらゆる分野で大きな力となってきています。

◎熊本JCシニアクラブ

会長 山内彰雄



赤いベストを贈って還暦の会員を祝う

書齋

会報